

PRESS RELEASE

2017年1月19日
 株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、高圧スマートメーターのBルート対応機器「SA-M1」を開発

-- ECHONET Lite/AIF認証を取得し、モバイル通信による自動接続やデマンド制御を実現 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、高圧スマートメーターの B ルートに対応した新型のゲートウェイ機器「SA-M1(エスエーエムワン)」を開発し、2017年1月5日付でECHONET Lite 認証(※1)およびAIF 認証(※2)を取得しました。IIJ では、「IIJ 高圧スマートメーターB ルート活用サービス」のトライアルプログラム(※3)で現在提供している「SA-W2」よりも耐環境性能を大幅に向上させた後継機として、2017年2月1日より、本製品の提供を開始いたします。

SA-M1 は、ネットワークに接続するだけで自動的にスマートメーターへの接続や設定が行われ、データおよび機器の情報はクラウド上で一元管理できます。IIJ は、本製品を高圧スマートメーターの B ルートデータ取得専用機器として、高圧小口需要家(商業施設、工場、ビル等)向けにデマンド(※4)監視を行うエネルギー管理サービス事業者や小売電気事業者などを対象に販売してまいります。

SA-M1 の特長は以下のとおりです。

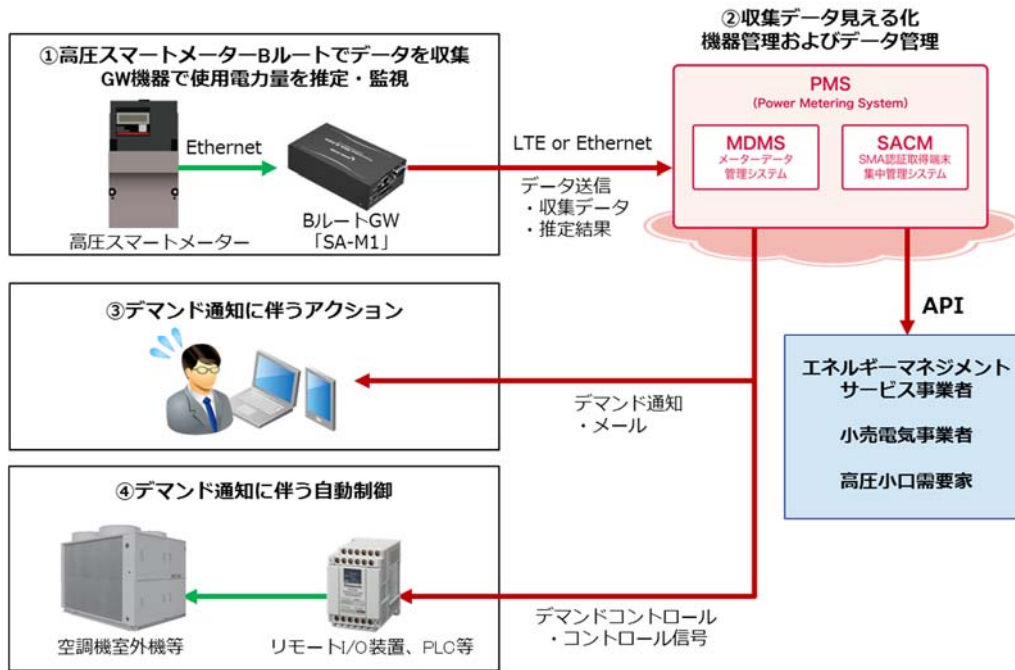
- デマンド制御機能
 SA-M1 本体が使用電力を予測し、閾値を超過しそうになると、メールなどでアラート通知を行うほか、空調機等の設備にコントロール信号を発信し、対象機器の自動制御を行うことで契約電力の超過を抑制します。
- 使用環境温度
 -20℃から 60℃まで対応し厳しい温度環境下でも使用できるため、キュービクル(高圧受電設備)や計器収納用プラボックス内への設置が可能です。
- LTE モジュール内蔵
 LTE モジュールを標準搭載し、B ルートデータを蓄積・管理するシステムと LTE/3G モバイル通信で接続できるため、設置が容易でネットワーク敷設の工事費も抑制できます。

なお、IIJ では、本製品の販売開始から1年間で2,000台の販売を目標としています。

■ 主な仕様

サイズ	W81.0mm×D137.0mm×H40.2mm (突起部は含みません)
重量	480g (アダプタ・ケーブルを除く)
インターフェース	・イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×2 ポート ・シリアル RS-485 (Dsub9) ×1、RS-232 (RJ-45) ×1
モバイル通信	・SIM カードスロット ×1 ・無線通信モード LTE/3G(HSPA+) Band 1、19、21
動作保証温度	-20℃～60℃
入力電源	DC12V±10%

■ 利用イメージ(「IIJ 高圧スマートメーターB ルート活用サービス」トライアルプログラム)



IIJ では今後とも、B ルートを活用したサービスを拡充し、お客様の省エネへの取り組みを支援してまいります。

- (※1) ECHONET Lite: 国内の家電メーカー、通信・電力会社などが加入するエコネットコンソーシアムにより策定された HEMS 向けの通信標準規格。ECHONET Lite 認証を取得することで、その適合性が示される。
- (※2) AIF 認証: スマートメーターを含む重点 8 機器と、重点 8 機器の対向になるコントローラ装置を対象とした機器間の相互接続性について、ECHONET (一般社団法人エコネットコンソーシアム) が策定したアプリケーション通信のインターフェース仕様に沿って行う適合性認証。
- (※3) プログラムの詳細は、<http://www.iij.ad.jp/biz/h-smart-meter/> をご覧ください。「IIJ 高圧スマートメーターB ルート活用サービス」の正式なサービス開始は、2017 年 4 月を予定しています。
- (※4) デマンド: 高圧需要家向けの電気料金は、基本料金と電力量料金の合計となります。一般的に、基本料金の計算根拠となるのが、30 分間の使用電力量の平均値であるデマンド値です。1 ヶ月の最大のデマンド値がその月の最大需要電力とされ、これをもとに 1 年間の基本料金が決定されます。最大需要電力が更新されるたびに、基本料金は 1 年間先まで変更(増加)されます。デマンド値を低く抑えることで、基本料金を低減することが可能です。

なお、本発表にあたり、機器の製造を委託するセンチュリー・システムズ株式会社より以下のエンドースメントをいただいております。

■ センチュリー・システムズ株式会社

センチュリー・システムズ株式会社(以下 CS)は、モバイル通信による自動接続やデマンド制御を実現した B ルート対応機器の開発について、歓迎します。

CS は、インターネットイニシアティブ (IIJ) 社のネットワークマネジメントシステム基盤 SACM を採用し、ネットワークマネジメントのビジネス拡大に取り組んでおります。今回の発表により、相互の技術連携が強化され、ビジネスがますます加速するものと期待しております。

センチュリー・システムズ株式会社
取締役 営業部グループマネージャー 川嶋 進司

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、鈴木

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@iij.ad.jp URL : <http://www.iij.ad.jp/>

【お詫びと訂正】

2017年1月19日の発表時に、「無線通信モード」の周波数帯を誤って掲載しておりましたので、2月8日に正しい記載に改めました。

誤) 無線通信モード LTE/3G (HSPA+) Band 20

正) 無線通信モード LTE/3G (HSPA+) Band 21

お詫びして訂正いたします。